



## ウズベキスタン 企業訪問調査レポート【7】

## VITAMED MEDICAL ~ 総合病院 ~

## ウズベキスタン共和国 - 基礎データ -

面積	44万8,900平方キロメートル（日本の約1.2倍）
人口	3,158万人（2016年初、出所：国家統計委員会）
首都	タシケント 人口279万人（2016年初時点）
実質GDP成長率	8.10%（2014年）
名目GDP総額	626億ドル（2014年）
一人当たりの名目GDP	2,046ドル（2014年）
対米ドル為替レート	2,311.40 ウズベキスタン スム（2014年平均値）

出所：JETROホームページ 国・地域別情報「ウズベキスタン基本情報 概況」（2016年6月更新）

調査月  
特徴

2016年1月

VITAMED MEDICAL（以下VITAMED）は、インドの総合病院傘下の外来及び入院患者を受け付ける総合病院。循環器系の著名なインド人専門医師であり、ウズベキスタンで数多くの診療実績を持つNaresh Trehan氏が国内の熟練医師陣を率いている。タシケント市の中心部に位置し急患への対応にも適しており、入院患者用ベッド数が7床と小規模であるが、最新の設備を備えた高度な診療に定評がある。

## 1 VITAMED概要

## 社名

VITAMED MEDICAL

## 設立

2013年

## 診療人員

120人

## 施設概要

建屋建坪面積5,000㎡ 診療室40 集中治療室2、外来患者数約200人/日  
入院患者病室7(3室は特別室で各1ベッド、4部屋は一般室で2ベッド)。



&lt;VITAMED MEDICALのロゴ&gt;



&lt;VITAMED MEDICALの外観&gt;



&lt;同院の救急車(後ろのドア。24時間と書いてある)&gt;



## 2 保有設備・診療科目

VITAMEDでは最新の診断設備と検査室を備え、各種科目の診療やリハビリ施術を行っている。

### 主な保有設備

MRI、CT等X線診断設備、超音波診断設備、物理療法機器、救急車など。診断用器具、検査試薬、医薬品なども含め、設備・器具などすべて輸入品を使用している。

### 主な診療科目

循環器科、神経科、小児科、外科、眼科、歯科、婦人科、泌尿器科、大腸肛門科、消化器科、内分泌科、リウマチ科、皮膚科、物理療法・リハビリ科



<処置室>



<手術室>



<処置室>

## 3 理念・基本方針

研究と医療陣育成、総合的治療により、熱意と責任、細心の注意を払いつつ、全ての患者に、その尊厳を守り国際水準の安全な診療を施す。

## 4 沿革

VITAMEDはニューデリーにあるインドの総合病院Medanta the Medicity（以下Medantaと称する）の傘下施設として設立された。Medantaは、インドの著名な心臓・循環器疾患医師Naresh Trehan氏が設立したインドで有数の総合病院である。Medantaから心臓、腎臓、腫瘍などの疾病や整形外科の専門医をVITAMEDに招き、診断を行うと共に、同院に診療機器が無く手に負えない癌など、高度治療を要する場合は、Medantaと相談しつつ患者ごとに治療計画を立て、紹介状とカルテを添えて数多くの患者をインドに送るなど、連携治療を行っている。

しかし、Medantaでの診療費は安いとはいえ、インドへの旅費や滞在費を負担できる人々は限られている。そのためVITAMEDでは、誰もが国内でMedanta水準の治療を受けられるよう、イスラム開発銀行から2,000万米ドルの融資を受け、医療内容の充実を急いでいる。

注：ウズベキスタンでは、外国医療機関での診療が盛んで、インドやドイツ、イスラエルなどの病院と提携している医療機関や、海外医療ツアーを企画する会社が数多くある。ちなみに肝臓移植の場合、ほとんどの患者がインドで施術を受けている。高・中所得層人々は主に医療費の高い欧州の病院を好むが、手軽な料金で質の高い診療を受ける場合、VITAMED経由でMedantaを利用するのが最も適している。



## 5 広告・PR

- ・Facebookなどソーシャルネットを含むインターネット
- ・国営テレビ、新聞等へのウズベキ語、ロシア語、英語での広告掲載
- ・屋外看板、チラシ等

## 6 医療スタッフ人材確保

医師等の採用には広く門戸を開いており、ソーシャルネット等ネット上などで専門人材を募集している。採用された医師はMedantaに派遣され、研修を受ける。スタッフの離職率は低い。

## 7 組織



## 8 社会貢献

タシケント市内の孤児院に対し、無料診療を行っている。

## 9 VITAMEDの今後の方針・計画

One-stopで質が高く、全ての診療が割安な費用で受けられる体制を整備することにより、利用患者の拡大を図っている。また、中・低所得層が医療需要の中心を占めることから、それらの人びとが手軽に同院を利用できるよう、Medantaから医師を招き、無料診断を行うと共に、政府の医療制度をより活用できるよう政府関係機関との連携を深めていく方針である。

2016年中に4階建てビルを購入し、病室を増設するとともに、乳癌検査科と透析センターを設けるなど医療内容を拡充する計画がある。また、他の地域にも診療所のネットワークを拡大し、将来的にはウズベキスタンと同様に高度医療需要の多いロシアにも事業を拡げていくことを計画している。



## 10 課題

施設を更に拡充し他地域にも診療所ネットワークを広げて扱い患者数を増やすこと。

## 11 ライバルとなる医療施設

Salus Vita、Clinic of Fedorovich、MDS、Doctor-D、City Medなど。

### 【ウズベキスタンの医療市場概観】

経済・社会の発展により、質の高い医療へのニーズが高まっており、タシケント市をはじめとする各地で医療機関の開業が増えている。それに伴い、病院の間では患者獲得のための広告に力を注ぐなど、競争の動きも現れはじめている。これまでは設備の整った病院が少なかったことから、最新設備を備えていることがセールスポイントであったが、現在では最新設備に加えて、充実した診療スタッフや診療の質、適正な診療費などが重要視されるようになり、好条件を提示して公立病院からの医師引き抜きが盛んである。

## 12 日本企業への期待

1 VITAMEDでは、日本水準の高度な医療機器や医療資材について日本企業から提案がある場合、商談に応じたいとしている。

2 高度医療を求める人びと、特に在留外国人に対して、医療保険会社は緊急の場合、国内ではなくEU諸国など外国での診療を勧めている。日本の高度医療機器を備えた医療機関の開設や、ウズベキスタン人医師の日本国内での研修・訓練プログラムなどには需要が高く、日本企業にとって進出の好機といえよう。

3 PET (注)や、放射線治療、薬剤定位投与、免疫療法などの関連機器を備えたがんセンターの開設、及びがん治療専門医師・技師の養成、ウズベキスタン国内での放射線療法の開発協力などに多くの需要がある。

特に放射線による診断・治療には強い需要があり、日本企業から提案があった場合、政府の強力な支援を期待でき、操作に要する人材の確保・教育や導入場所については、容易に解決できると考える。

(注)

PET：陽電子放出断層撮影。ウズベキスタンではPETや放射線治療機器が導入されているが未だ稼働しているものがない。